

令和8年10月23日
こども家庭庁

『はじめての100か月の育ちビジョン』 全国大会・国際シンポジウムを 令和8年11月22日(日)～23日(月・祝)に初めて開催します

こども家庭庁は、こどもの誕生前から幼児期までの育ちを社会全体で支えるため、「はじめての100か月の育ちビジョン」の考え方や取組を共有する全国大会と国際シンポジウムを、2026年11月22日(日)・23日(月・祝)に初開催します。こどもの育ちに関わるさまざまな立場の人が集まり、こどもたちのために今できることを考えます。

『はじめての100か月の育ちビジョン』

全国大会・国際シンポジウム

2026 11/22 日 ～11/23 月(祝)

こどもたちのために、いま私たちにできること

開催の背景

こどもの誕生前から幼児期までの「はじめての100か月」は、生涯にわたるウェルビーイングの基礎となる大切な時期です。令和5年12月に閣議決定された「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン(はじめての100か月の育ちビジョン)」では、保護者や専門職だけでなく、社会のさまざまな人がこどもの育ちを支える担い手であることを示しています。今回の大会では、国内外の取組や科学的な知見を共有し、立場や分野を越えて、こどもの育ちを支える方法を考えます。

開催概要

1. 名称:「はじめての100か月の育ちビジョン」全国大会・国際シンポジウム
2. 日程
【全国大会】
2026年11月22日(日)10時00分～17時00分、11月23日(月・祝)9時00分～12時00分
【国際シンポジウム】
2026年11月23日(月・祝)13時00分～18時30分
3. 会場
都市センターホテル(東京都千代田区平河町2-4-1)
オンラインでも参加できます。国際シンポジウムでは日本語・英語の同時通訳を予定しています。
4. 参加費:無料

5. 参加対象

子育て中の保護者、幼児教育・保育や子育て支援の関係者、自治体職員、医療・保健・福祉関係者、大学・研究機関の関係者など

6. 一般申込み

2026年11月13日(金)まで

【全国大会】

<https://jmar-form.jp/100mvision/>

【国際シンポジウム】

<https://www.nttdata-strategy.com/newsrelease/event/100mvision/>

※全国大会と国際シンポジウムの両方に参加する場合は、それぞれの登録が必要です。

プログラムの主な内容

全国大会

- 記念講演:こどもの育ちについて、今の時代に大切にしたいことを考えます。
- パネルディスカッション:科学的な知見や各地域における実践事例をもとに、こどもの育ちを社会全体で支える方法を話し合います。
- 分科会:日常のつながりを入口に、こどもや家庭に必要な支援につないでいく方法、地域のだれもが活躍できる「こどもまんなか」のまちづくりの在り方、異なる立場の人が協働し、行動の第一歩を踏み出すための方法などを取り上げます。
- 1日目の22日(日)には、「はじめの100か月ビジョン」PR動画コンテストの授賞式も行います。

※登壇者やプログラムの詳細は、調整中の内容を含むため一部変更になる可能性があります。

国際シンポジウム

日本と諸外国における「はじめの100か月」のこどもの育ちに関する政策や取組、科学的な知見を共有します。国内外の事例発表やパネルディスカッションを通じて、各国の取組から学び、こどもの育ちを支えるためにできることを考えます。OECD職員及び海外の政府関係者の登壇も予定しています。主な登壇予定者:秋田喜代美氏(こども家庭審議会会長)、小原ベルファリ・ゆり氏(OECD教育スキル局 就学前・学校教育課長)、門田理世氏(西南学院大学教授・モデレーター)、他

※全国大会・国際シンポジウムの詳細情報については、当庁の以下ホームページへ随時掲載します。別添の開催チラシもご覧ください。

詳しくはこちら→

https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo_sodachi/nationaltournament-symposium

【本件連絡先】

こども家庭庁成育局 成育基盤企画課 指針係
担当 本間、岩崎
電話 03-6861-0059